



かがやく子ども

～自立と共生の礎を培い、今と未来を豊かで創造的に生きる子どもを育てる学校～

老上西ふれあい音楽まつり2018

11月10日(土)11日(日)に、「老上西ふれあい音楽まつり」が開催されました。昨年度は、一部老小学校区との合同開催でありましたが、今年度からは老上西小学校区のみで開催となりました。ステージ発表あり、ふれあい広場(フリーマーケット・模擬店)あり、子ども広場や展示コーナーありと、本学区のみなさんが、いろいろなコーナーを通して、広くまた深くつながる場となったように思います。

《かがやく子どもたちの姿を、たくさん見ることができました》

- 音楽科の時間に学んだ曲を、長休み・昼休みの時間も練習を積み重ねながら、歌ったり合奏したりすることができた。
- 楽器の役割分担をし、音を合わせることを意識しながら、一つの曲として作りあげることができた。
- 大勢の人の前での発表は緊張したはず。それでも胸張って堂々と発表することができた。
- 他学年の発表のよさに、感動する姿がみられた。
- 各コーナーの展示を見たり体験したりしながら、大人と子どものふれあう姿がみられた。
- 模擬店ならではの雰囲気のもとで、いろいろなメニューをおいしく味わうことができた。

「老上西ふれあい音楽まつり」を企画立案そして運営をしていただいた実行委員会のみなさま方、また実行委員会をうけてPTA役員・委員として『フランクフルト』『ぷよぷよボール』等のコーナーに、ご尽力いただきましたみなさま方、ありがとうございました。



【続掲載中】子どもの学力について

10月18日号・11月2日号の学校通信で「全国学力量習状況調査」について掲載しましたが、今回は、算数科で出題された問題を見ながら分析したいと思います。本校では、次の問題(裏面の問題)

【算数A・・・主として知識を問う問題】の正答率が、全国平均を下回ってしまいました。

答えが $12 \div 0.8$ の式で求められる問題を、下の1から4までの中からすべて選んで、その番号を書きましょう。

- 1mの重さが12kgの鉄の棒があります。この棒の0.8mの重さは何kgですか。
- 0.8Lで板を12mぬることができるペンキがあります。このペンキ1Lでは、板を何mぬることができますか。
- 赤いテープの長さは12cmです。白いテープの長さは、赤いテープの長さの0.8倍です。白いテープの長さは何cmですか。
- 長さが12mのリボンを0.8mずつ切っていくきます。0.8mのリボンは何本できますか。

「ふりがな」なし

正解は、2と4です。算数科の授業の多くは、『①問題文を読む。②立式する。③答えを出す』の流れですが、この問題は、『立式に合う(答えに合う)問題をさがす』という、逆の流れです。小数の除法の意味について理解し、問題の場面から式を考える学習を積み重ねておかないと、解くことに時間がかかるかも知れません。また問題文には「すべて選んで…」と書かれていて、解答が一つとは限らないことに、やや不安も抱えながらも、4つの問題の意味を正しく理解していく必要があります。さらに他の問題もあるので、たくさん解くには、読解力も必要です。学習指導要領にかかれている「確かな学力」をつけることと、本校児童の現状を考えながら、算数科において、次のことを大切にしています。

A よりよい「学ぶ教室環境」をつくる(学ぶ土台となる学習中の姿の掲示)・・・【例1・2年ひらがな掲示】


聞き名人	①話している人に、おへそと目を向けて聞きましょう。②話を最後まで聞きましょう。③静かに聞きましょう。心が大切です。
学び名人	①チャイムが鳴ったら、すわって待ちます。②学習中は、よい姿勢になります。③線を引くときは定規を使います。④発表するときは、静かに手を挙げます。あてられたら、返事をします。⑤次の学習の用意をしてから、休み時間にします。
話し名人	①聞いている人が聞こえるように、しっかりと最後まで話しましょう。「～です。」「～ます。」②順序に気をつけて、話しましょう。「まず」・「次に」・「最後に」
声の ものさし	声の大きさを考える。【レベル1】だまって考える。【レベル2】おとなりさんに聞こえる声 【レベル3】グループの人に聞こえる声【レベル4】みんなに聞こえる声

B 算数科で各単元の「ゴールとなる問題」を、先に提示します。【例5年生】

〇個買います。

☆割引券は三種類あります。
さて、どの券を使うと一番お得でしょうか？

あ 全品 20%引き	い 全品 40円引き	う 合計 800円以上 買うと合計金額から 150円引き
---------------	---------------	---------------------------------------



左の写真は、5年生が「割合」の単元を学習していた時の教室掲示物です。単元に入るときに、数時間の学習後には、こんな問題が解けるという見通し【学習目標】を持たせることを大切にしています。できるだけ身近な生活に結び付けた問題にして、関心意欲を高めます。単元終了後は、最初はわからなかった問題が、数時間の学習後には、解けるようになったという達成感も味わわせます。

(きれいに箱詰めされたお菓子の数え方が、九九を学習した後では、すぐに数えられるようになったことに自信も持たせ、同時に学習が生活と結びついていることを理解させています。)

C 協働学習を多く取り入れます。【算数科だけでなく他の教科等においても、学習の流れの中に、学び方を時々変えます】

考えたことを学級全体の中で堂々と発表することは、勇気がいることです。そこで45分間の授業の中に、ペアや3人程度のグループで学習すること(協働学習)を取り入れます。学級全体の中では発表をひかえてしまう子が、少人数のグループでは自分の考えを言えることがあります。小グループの友だちに自分の考えを伝えることが、発表の仕方・まとめ方を確認することになり、結果として確かな学力をつけることにつながると考えています。

現時点での取組A・B・Cを充実していきます。

【お詫びと訂正】11月2日学校通信No.13裏面の、「アメリカンフットボール」は「ラグビー」でした。記述に間違いがあったことをお詫び申しあげ、訂正させていただきます。申し訳ありませんでした。